

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

あべともこニュース

母子の居場所「産後ケアセンター」法案が成立へ。



世田谷区の産後ケアセンター 桜新町を18年3月13日に視察

◆お母さんを孤立させない

出産後1年以内のお母さんと赤ちゃんがいっしょに宿泊できる場所「産後ケアセンター」の設置を推進する母子保健法一部改正案が11月22日の厚生労働委を通過、今国会での成立を目指しています。

3年前、保坂展人・世田谷区長から、出産後の母子のための産後ケアセンターを運営しているが、旅館業扱いであり、法律を作って欲しいとの依頼を受け、取り組んできました。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選7回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長
現在、厚労委員会・原子力問題調査特別委員会筆頭理事



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中！

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012
横浜市中区相生町 4-69-4F
TEL 045-228-8591
FAX 045-228-8592



11月22日厚労委。
18年に野党案を提出、今回、阿部知子が与党に修正協議を呼びかけて合意に至りました。

出産後の母子にとり重要なのは、母親がゆっくり休めて子育ての不安やストレスを1人で抱え込まないこと。しかし近年、母子の孤立や産後うつや自殺が増加。児童虐待の4割は0歳児に集中し、母親が加害者である場合が圧倒的に多いのです。また産後1年以内の母親の死因で最多は自殺であることも分かりました。

今回、母子保健法の改正で妊娠出産後の母子を支える産後ケア事業（宿泊、デイサービス、訪問）への予算も充実が期待されます。

◆八重の桜が泣きます

血税5千5百万円を費やした桜を見る会の招待客名簿は、野党質問の前にシュレダーにかけたと内閣府は国会答弁しました。

安倍政権下では、首相に都合の悪い情報は、破棄か隠蔽か嘘でごまかすことが当たり前になりましたが、これでは国民から集めた税金の違法な使途をチェックできません。

1万8千人のうち、千人が首相夫妻、千人が副総理や官房長官ら、6千人が自民党枠。省庁推薦枠6千人のうち、名簿を保存していた省庁が公開した名簿でも6割が黒塗り。功労者なら公開されるはずの名簿であり、三役（大臣、副大臣、政務官）枠が隠されています。反社会的勢力も出席していたと菅官房長官は認めました。

戦後に外交を進める為に始まり、今や自民党支持者サービス大会と化した桜を見る会は、本旨に戻るべきです。